

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2026年7月1日(水) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OOT97 5 (OT97 3)	PGx対象 APOE遺伝型	血液 (EDTA- 2Na加) 2.0	PN2 PN5 (C)	冷蔵 (3日)	3~7	2274 ※2	PCR (リ アルタイム ΔPCR)		重凍 下記参照

※2：遺伝子関連・染色体検査判断料

●備考

凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。
本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分
ご注意ください。

●SRL総合検査案内 ご利用の手引き「ファーマコゲノミクス(PGx)検査項目をご依頼の場合」をご参照のうえ、
ご依頼ください。



● APOE遺伝型

抗アミロイドβ抗体薬投与後のARIA発現リスクの判定補助に有用な検査です。

APOE遺伝子は、脂質の輸送や代謝に関与するアポリポ蛋白Eをコードする遺伝子であり、ε2、ε3、ε4の3つの主要な遺伝型を持ち、ε4はアルツハイマー病の発症リスクを高めることが知られています。

近年、アルツハイマー病（AD）に対する抗アミロイドβ抗体薬の治験において、ε4が副作用であるアミロイド関連画像異常（amyloid-related imaging abnormalities：ARIA）の発現リスクであることが報告されました。ARIA発現リスクはε4ホモ接合体、ε4ヘテロ接合体、ε4非保持者の順で高く、特にε4ホモ接合体の場合、症候性ARIAの発生頻度が高くなります。そのため、抗アミロイドβ抗体薬使用前に、副作用の発生頻度を予測し、患者・家族との共同意思決定に活用することを目的に、APOE遺伝子検査を行うことが推奨されています。

本検査は、APOE遺伝子にある2箇所の一塩基置換（rs429358、rs7412）を検出し、組み合わせにより6つの遺伝型（ε2/ε2、ε2/ε3、ε2/ε4、ε3/ε3、ε3/ε4、ε4/ε4）を判定のうえ、ご報告いたします。

▼検査要項

検査項目名	PGx対象 APOE遺伝型
項目コード (旧項目コード)	OOT97 5 (OT97 3)
検体量	血液（EDTA-2Na加） 2.0 mL
容器	PN2, PN5 (C) EDTA-2Na入り
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3~7 日
検査方法	PCR（リアルタイムPCR）
基準値（単位）	
報告範囲（単位）	ε2/ε2、ε2/ε3、ε2/ε4、ε3/ε3、ε3/ε4、ε4/ε4、判定不能
検査実施料	① 2274点 （「D006-17」Nudix hydrolase 15（NUDT15）遺伝子多型）
判断料	100点（遺伝子関連・染色体検査判断料）
備考	凍 凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

- ① APOE遺伝型は、効能又は効果としてアルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制を有する医薬品に係る厚生労働省が作成する最適使用推進ガイドラインで定められた投与対象となる患者及び投与施設において、当該医薬品の投与の可否、治療方針等を判断することを目的としてリアルタイムPCR法により測定を行った場合に、患者1人につき1回に限り算定する。

[OOT97 5]APOE遺伝型について

1. 本検査は、全血から抽出したゲノムDNA中のAPOE遺伝型を判定し、抗アミロイドβ抗体薬投与後のARIA発現リスクの判定の補助を目的としています。
2. 「認知症に関するAPOE遺伝学的検査の適正使用ガイドライン」を充分にご理解のうえ、適切にご使用ください。

●参考文献

Hampel H, et al : Brain 146 (11) : 4414~4424, 2023. （臨床的意義参考文献）